

目次

凡例

図表一覧

はじめに	1
1 研究の背景	1
2 研究の目的と意義	3
3 研究課題と研究方法	4
4 倫理的配慮	5
5 本論文の構成	5
第1章 家族と介護	7
第1節 家族の概念	7
1 家族とは	7
2 家族の要件と類型	7
3 家族の変遷	10
第2節 介護の概念整理	11
1 介護とは	11
（1）非専門的介護	12
（2）専門的介護	13
2 家族介護	14
3 在宅介護と施設介護	17
第2章 社会保障と介護の社会化	19
第1節 社会保障と社会保険	19
1 社会保障の機能と体系	19
2 社会保険の制度化	19
3 社会保険の類型	20
第2節 介護保険制度と日本型福祉社会	20
1 介護保険制度の政策理念	20
2 福祉ミックスと日本型福祉社会	21
3 日本型福祉社会と家族介護	22
第3節 介護の社会化論と家族介護者支援	23
1 文献にみる「介護の社会化」	23
2 施設の社会化	25
3 家族介護者支援の社会化	26

第4節	介護保険制度と介護の社会化	27
1	介護保険制度の創設目的	27
2	既存制度の問題点と介護の社会化検証	27
(1)	老人福祉制度	27
(2)	老人医療制度	30
(3)	制度間の不整合	31
3	介護保険 2017 年度制度改定と利用者負担	32
(1)	制度改定の目的と改定概要	32
(2)	介護給付費と第1号被保険者等の推移	33
(3)	利用者負担の見直し	35
第3章	家族介護者の現状と評価・価値	36
第1節	家族介護者の現状	36
1	家族形態の推移	36
2	介護の状況	36
3	高齢者介護の多様性	40
(1)	家族等のみによる介護	41
(2)	業務として提供される介護	41
(3)	専門家集団の実践する介護	42
第2節	家族介護の評価	43
1	家族介護の社会的評価	43
2	介護者による介護評価	44
3	家族介護の介護負担感	46
第3節	家族介護者の価値と関係性	49
1	介護者支援の考え方	49
2	家族介護の関係性と家族危機	51
(1)	家族介護の関係性	51
(2)	家族危機モデル	52
(3)	家族危機への対応	52
第4章	高齢者介護と地域包括ケアシステム	55
第1節	高齢者介護ニーズの高まり	55
第2節	地域包括ケアシステム	55
1	地域包括ケアシステムの構築	55
2	地域包括ケアシステムの目的	56
3	地域包括ケアシステム構築のプロセス	56

4	地域支援事業	57
(1)	介護予防・日常生活支援総合事業	57
(2)	包括的支援事業	60
(3)	任意事業	63
第3節	地域ケア会議	64
1	地域ケア会議の機能	64
(1)	個別課題解決機能	64
(2)	ネットワーク機能	64
(3)	地域課題発見機能	64
(4)	地域づくり・資源開発機能	65
(5)	政策形成機能	65
2	地域ケア会議の種類	65
(1)	地域ケア個別会議	65
(2)	地域ケア推進会議	66
第5章	在宅介護の継続要因に関する調査1	
	— 家族介護者に対する質的研究 —	67
第1節	本調査の概要	67
1	調査目的	67
2	用語の整理	67
(1)	「在宅（居宅）」の定義	67
(2)	「家族介護者」の定義	68
3	研究方法	68
(1)	調査対象者	68
(2)	調査方法	68
(3)	分析方法	68
第2節	本調査の結果と考察	69
1	分析結果	69
2	調査対象者の属性	69
3	家族介護者3類型の内容分析	70
4	考察	73
(1)	対象者の概要	73
(2)	家族支援	73
(3)	専門職支援	77

第3節 総合考察 — 家族介護システムの持続可能性 —	79
1 家族介護者因子	79
(1) 求められる家族介護者	79
(2) 在宅介護に求められる促進要因	80
2 環境因子	80
(1) 看取りまでの在宅介護の環境	80
(2) 専門職に求められる能力	81
3 3因子間の相互作用における重層的支援	82
第6章 在宅介護の継続要因に関する調査2	
— 福祉機関従事者に対する量的研究 —	85
第1節 本調査の概要	85
1 調査目的	85
2 研究方法	85
(1) 調査対象	85
(2) 調査方法と調査項目	85
(3) 分析方法と分析手順	86
第2節 本調査の結果と考察	87
1 調査対象者の属性 (単純集計)	87
2 クロス集計と因子分析	89
(1) 調査対象者の属性 (クロス集計)	89
(2) 専門職としての介護観	91
(3) 家族介護を促進する上で重要と思われること	101
第3節 総合考察 — 家族介護システムの持続可能性 —	119
1 家族介護者の意向	119
(1) 親子の同居に対する意向	119
(2) 介護が必要となった場合に頼りたい相手	119
(3) 介護を受けたい場所	120
(4) 介護に対する思い	120
2 専門職としての意向	120
(1) 「介護するのは当然だ」という気持ちに対する考え方	120
(2) 家族介護者への支援	121
(3) 自宅で看取るための支援	121
(4) 地域包括ケアシステム導入	122
(5) 家族介護者が在宅介護を継続するうえで感じている困難や課題	122
3 家族介護の継続促進要因と家族介護者への支援の現状と望ましい支援体系	122

第7章 家族介護システムの再構築	125
第1節 家族介護者に対する精神的・身体的負担の軽減	125
1 家族介護者支援の必要性	125
2 家族介護者支援事業	125
3 家族介護者支援事業の実施状況	126
第2節 家族介護システムの再構築の試み	128
1 家族介護者が否定的ストレスに陥らないための方策	128
(1) 要介護者を取り巻く家庭状況	128
(2) 介護者ストレスモデル	130
2 家族介護システムの再構築の在り方	136
(1) 家族介護者の介護負担感	136
(2) 介護ストレスに対する家族役割の再組織化	136
(3) 家族の再組織化を促す方策としてのコーピング	140
(4) 家族の再組織化を促す方策としてのソーシャルワーク的支援	142
おわりに — ソーシャルワーク的支援に向けて —	144
1 家族介護の困難性	144
2 看取りの現状	145
3 関係性の構築	148
4 課題と展望 — 在宅介護の継続に求められる要因 —	149
謝辞	151
引用文献	152
参考文献	158
参考資料	162

凡例

本論文における資料の引用は以下によるものとし、脚注を同頁下に主要参考文献を巻末に示した。

1. 本論文での文献表示の形式は、原則として日本社会福祉学会機関誌『社会福祉学』の執筆要領に従っている。
2. 本論文においては、和書・洋書を問わず、単著書の場合、(著者 2019:23) とし、単著論文の場合、(著者名 2019) とする。ただし、巻末の文献一覧に記載するときは、前者は著者(出版年)『書名』発行所とし、後者は著者(出版年)「タイトル」『掲載雑誌』巻(号)論文初頁-終頁とした。
3. インターネットの参考に関しては、URL、当該情報のタイトル、アクセス年月日を示した。
4. 引用文中の省略は、〈中略〉と示した。

図表一覧

第1章

図1 家族3類型	8
表1 介護給付を行うサービスにおける新たなサービス区分	18

第2章

表2 社会保険制度の概要	20
表3 要介護度別認定者数・介護費用の推移	33
表4 サービス受給者数・給付費の推移	34
図2 第1号被保険者数の推移	34

第3章

表5 65歳以上の者のいる世帯数と全世帯に占める65歳以上の者がいる世帯の割合	36
表6 要介護高齢者等のいる世帯の世帯構造の世帯割合の年次推移	37
表7 要介護高齢者等のいる世帯の世帯構造別にみた要介護度の構成割合	37
表8 要介護者等の年齢階級別にみた同居の主な介護者の性・年齢階級別構成割合	39
図3 要介護者等と同居の主な介護者の年齢組合せ別の割合の年次推移	39
図4 要介護度別にみた同居の主な介護者の介護時間の構成割合	40
表9 「介護に関する評価」を構成しているカテゴリー・サブカテゴリーと構成要素	45

表 10	介護継続理由	47
表 11	介護力の因子構造	48
図 5	要介護者の介護度と家族役割の再組織化	54

第5章

表 12	調査対象者の属性	70
表 13	家族介護者3類型の比較表	71
図 6	促進要因と阻害要因の関係支援図	84

第6章

表 14	調査対象者の属性	88
表 15	主な資格と年齢（複数回答）	89
表 16	主な資格と職種（複数回答）	90
表 17	主な資格と経験年数	90
表 18	性別による在宅介護経験の有無	91
表 19	在宅介護経験の有無と主な職種	91
表 20	親と子の同居に対する意向	92
図 7	現在・将来における親との同居と別居の状況	93
図 8	同居に対する理由	93
表 21	性別にみる同居に対する理由	94
表 22	年齢別にみる同居に対する理由	95
表 23	在宅介護の経験別にみる同居に対する理由	95
表 24	主な職種別にみる同居に対する理由	96
図 9	介護が必要となった場合に頼りたい相手	96
表 25	性別にみる介護が必要となった場合に頼りたい相手	97
表 26	年齢・職種・介護経験・所属機関別にみる頼りたい相手	98
図 10	介護を受けたい場所	99
図 11	年齢別にみる介護を受けたい場所	100
表 27	在宅介護経験の有無別にみる介護を受けたい場所	100
表 28	家族介護を促進する上で重要だと思われること	102
表 29	専門職員の考える肯定的項目	103
表 30	専門職員の考える否定的項目	103
表 31	職種・家族介護の有無別で考える肯定的・否定的な考え	105
表 32	「介護をするのは当然だ」という気持ちに対する肯定的・否定的考え方の差異	106
表 33	家族介護の継続促進要因の因子分析結果	108

表 34	家族介護者が介護を行うなかで持ったであろうと感じた感情	・・・	110
表 35	在宅介護を継続するために求められる家族介護者への支援	・・・	111
表 36	家族介護者支援内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	112
表 37	在宅介護を継続するために求められる家族介護者への 支援の因子分析結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	114
図 12	自宅以最期まで介護（看取り）をするために必要な支援（多重回答）	・・	115
表 38	地域包括ケアシステム導入に伴う地域支援の充実感	・・・・・・・・	117
表 39	家族介護者が在宅介護を継続する上で感じている困難や課題	・・・	118
図 13	家族介護の継続促進要因と家族介護者への支援の現状 と望ましい支援体系	・・・・・・・・・・・・・・・・	124

第7章

表 40	家族介護支援事業の実施状況	・・・・・・・・	127
表 41	要介護者家庭と介護者家庭の組み合わせ	・・・・・・・・	129
図 14	ABCX モデル	・・・・・・・・	130
図 15	家族危機の段階的過程	・・・・・・・・	132
表 42	家族介護における要因群と諸側面	・・・・・・・・	133
図 16	ケアの二つの要素	・・・・・・・・	134
図 17	要介護者をめぐる介護状況に関する類型	・・・・・・・・	135
表 43	介護類型・介護状況と再組織化	・・・・・・・・	135
図 18	介護ストレスに対する家族役割の再組織化に向けての コーピング・ソーシャルワーク的支援の段階図	・・・・・・・・	137
表 44	在宅で終末まで迎えることを可能にするために 介護者等に求められる条件	・・・・・・・・	139

おわりに

表 45	在宅での看取りを阻む 10 の要因	・・・・・・・・	146
------	-------------------	----------	-----